



YMCA News

6

2020年6月1日発行
(毎月1日・1回発行)
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行/公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

#はなれていてもつながっている 全国のYMCAでキャンペーン



全国のYMCAでは、私たち一人ひとりとその周りにいる大切な人たちのいのちを守るため、コロナウイルス拡散・感染防止キャンペーン「#はなれていてもつながっている」を実施しています。

横浜YMCAでは、保育園や学童クラブ、高齢者事業以外の水泳や体操、語学などのプログラムは、学校の休校に伴って5月も休校・休講しました。子どもたちは、友だちや先生とともに過ごす時間が失われています。それぞれの場所においても共にいるということを実感できることは、子どもたちの成長にとって大切であると考え、横浜YMCAでは、「ウエルネスデリバリー」として家庭などでできる運動の方法やキャンペーンの紹介、栄養ミニ講座、語学、発達教育支援などについて動画などで紹介し、YMCAの会員のみならず地域に広く発信し「ウエルネス」よりよく生きる」ことに

つなげようとして取り組んでいます。全国のYMCAでは、善意や前向きな気持ちでつながるネットワークのある豊かな社会を創る。ことを目指しています。会えない人に電話をして近況を話すことや、医療・福祉に従事している方への感謝や励ましを伝えることなど、ポジティブに乗り越える取り組みを共に進めていきましょう。

裏面にウエルネスデリバリーの一部をご紹介します。



安全のために、
はなれていても
わたしたちは
つながっています

ポジティブネットは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながる、YMCAが提唱するネットワークです。

ZOOMでラジオ体操



健康教育事業では、コロナウイルスの感染拡大防止のため、外出する機会が減っている子どもたちをはじめとしたあらゆる世代に向けた「ウエルネスデリバリー」に加えて、横浜中央YMCAでは、4月23日からWebで「ZOOMでラジオ体操」を行っています。毎回約200人の親子の参加があります。Webを通して「はなれていてもつながっている」を体感し、参加者と健康維持に取り組んでいます。5月から健康教育事業のある9カ所のYMCAにて開催されています。



▲体操担当のスタッフも画面からつながり感じる

オンライン授業開始



横浜YMCAカレッジグループ4校(学院・健康福祉・横浜スポーツ・国際ビジネス専門学校)では、コロナウイルス感染拡大予防のため、4月から休校していましたが、各校では学生のケアを行い、5月からオンライン授業がスタートしました。テレビ会議システムなどを使用し、同時双方向型などを取り入れ、画面を通して学生の様子を見ながら進めています。専門学校の教員の一人は「より良い授業をするための準備を模索しながら進めていきます」と語りました。



▲YMCA国際ビジネス専門学校(川崎YMCA)のオンライン授業

♪子育てランド♪ 雨だから! 楽しもう

うっとり梅雨の季節が今年も近づいてきました。天気が悪いから〇〇ができないではなく、こんな時こそ〇〇してみよう!の発想で子どもと楽しんでみましょう。いちばん手取り早いのは、傘と長靴とレインコートを用意して雨の中散歩にでかけてみることです。いつもと違う道を選んでみたり、川をのぞいてみたり、雨の音をじっくり聞いてみたりすると、大人も好奇心が刺激されます。家の中で過ごす場合は、防災キャンプはいかががでしょう。ポリ袋クッキング、寝袋でゴロゴロ、い

つもとは違う家の様子にワクワクがいっぱいです。防災用品の見直しにもなります。体を動かすことが好きな子には家でアスレチックはいかがですか?発達に応じてくぐる、またぐ、ころがす、ころがる...大人にとっても良い運動になります。子どもの遊びに「つきあう」のはちょっと大変とすることも正直ありますよね。大人も一緒になって雨の時期も楽しみましょう。(YMCAマナ保育園 保育士 金子奈穂子)

ホドス

新型コロナウイルスの感染防止は、他人との密な接触を避けねばならず、関係する神学校の幼稚園は休園中、保育所の部分は縮小しての再開はしましたが、開園を希望する保護者やお子さんに全面開放できない葛藤が続いています。しかし、この新型コロナウイルスの中で先の見えない不安やいら立ちとともに、自分自身の新しい気づきがありました。それは感染症への無関心と、医学はもうどんな感染症も克服できるとむやみに信じていたことです。ごく最近のエボラ出血熱、サーズ、エイズなどの感染症が頭の隅にもなく、自分の無関心と不遜な楽観主義にあわてました。ところが今、全世界を覆う新型コロナウイルスの感染と感染死のリアルティが、この私の身にも現実となつて迫ります。遠い外国のこと、かの国のこと、が私のことになったのです。コロナの感染は国々の垣根をやすやすと越え、少し大げさに言えば、このコロナが私たちの住む地球を小さくし、いや応なしに今の私たちと関わります。ネットや新聞で刻々と知らされる外国の感染者や死者数、また感染を伝えるテレビの映像は、まさに今の日本に関係があることです。どこの国の人も同じようにマスクをしています。単純素朴に「世界は一つ」を思い、一体感を感じます。まさにコロナが結び一体感です。しかし、この私の一体感が残ります。日本の社会がコロナパンニックを収束した後も「世界は一つ」の一体感を当然とできるのかと。(進)

横浜中央YMCA ☎045(662)3721
 横浜北YMCA ☎045(433)4321
 藤沢YMCA ☎0466(26)1151
 横須賀YMCA ☎046(834)5811
 川崎YMCA ☎044(932)2031
 厚木YMCA ☎046(244)4181
 YMCA ACT ☎045(316)1881
 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859
 YMCA山手台センター ☎045(813)1022
 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768
 金沢八景YMCA ☎045(782)3003
 YMCA東とつかセンター ☎045(392)3747

大和YMCAライフサポートセンター ☎046(264)3192
 横浜YMCAワークサポートセンター-アンジュ ☎045(867)0090
 横浜YMCAワークサポートセンター-レザン ☎045(860)5252
 YMCAあつぎ保育園ホサナ ☎046(222)8619
 YMCA山手台保育園アルク ☎045(813)1022
 YMCAとつか保育園 ☎045(870)3663

YMCAマナ保育園 ☎045(790)3588
 YMCAとつか乳児保育園 ☎045(870)3235
 YMCAつるみ保育園 ☎045(500)5030
 YMCAかわさき保育園 ☎044(520)1825
 YMCAいずみ保育園 ☎045(800)3010
 YMCA東とつか保育園 ☎045(820)5588

YMCA東かながわ保育園 ☎045(440)3763
 YMCAたかつ保育園 ☎044(281)7833
 金沢八景YMCA保育園 ☎045(353)5130
 YMCAオベリン保育園 ☎042(707)9974
 大和YMCA保育園 ☎046(214)3192
 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎0544(54)1151
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎046(888)2100
 鶴見中央YMCA ☎045(508)7800
 YMCAライフサポートセンター-鶴見 ☎045(506)0131
 YMCAライフサポートセンター-関内 ☎045(680)6680
 本部事務局 ☎045(662)3721

INFORMATION

横浜YMCA



YMCA ウェルネスデリバリー

子どもたちと保護者、家族や地域の皆さまの「よりよく生きる」につなげるために

世界のYMCAからメッセージ届く



新型コロナウイルス感染拡大を受けて、ミャンマーにあるミッチーナYMCAと、フィリピンにあるマニラダウンタウンYMCAよりメッセージが届きました。メッセージでは、各国の現状や取り組み、また励ましの言葉「私達には世界につながるYMCAのネットワークがあります。皆さんのコミュニティで、今できることをしていきましょう。」などをいただきました。



自宅でキャンプソング一緒に歌おう



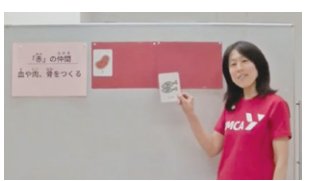
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジでは、自宅での時間を有意義に過ごせるようにと、これまで、「がんがん」「キャンプがだいすきだ」「3点セット」のキャンプソング3曲を配信しています。ぜひ、ご家族の皆さんで歌って、キャンプ気分を味わってみてはいかがでしょうか。皆さんからのキャンプソングリクエストも募集しています。



栄養ミニ講座「赤の仲間は何？」



ウェルネスデリバリーでは、身体を動かすプログラム配信だけではなく、栄養についてのミニ講座も3シリーズに渡って配信しています。「赤の仲間」編では、血や肉・骨をつくり、体を丈夫にしてくれる食材について紹介されています。皆さんが、ウイルスに負けない体づくりができるように、栄養価のある食べ物を食べて、元気に過ごしましょう。



フェイス コーナー 地域奉仕の輪を広げたい

横浜つづきワイズ&ウィメンズクラブが発足して14年。本稿の締め切り日の5月13日が設立記念日でした。田園江田教会、田園都筑教会の兄弟教会を母体として発足したクラブで、地元には横浜YMCAの施設はないものの、横浜北YMCAから担当主事をいただき、多く

のメンバーが、横浜YMCA、横浜北YMCAにて常議員、各委員・運営委員等を務めさせていただき、YMCAとの協働を標榜するワイズメンズクラブとしては理想的な形態となっています。当クラブも他と同様、高齢化への対応が最大の課題ですが、YMCAの若い力のお裾分けにあずかりながら地域奉仕の輪を大きく広げていきたいと願っています。(横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ 会長 今城高之)

「青年の時代は『生きがい』の発見こそ自立への道である」

32年前に出版されたある教育者のメッセージ集「青年」という表題の一節である。著者は「生きがいの発見」とは「人間関係から他者への配慮が生まれ人生の別な局面を見出すことで、生き甲斐を持つことができるようになる。」と解説している。

全国YMCAのユースが、コロナ禍にある子どもたちや、家庭、地域に向け動画などの発信を始めた。デジタルネイティブと呼ばれる世代は、新機種への対応や新機能の習熟も早い。インターネットを通じ画面上で初めて顔を合わせた各地のリーダー

ひとかき 青年の時代

ー 同志が、情報交換を行い、あるアイデアがあつたという間に発信される。それが新しい着想のもと刺激を受けて、各YMCAで洗練されたものがインターネットの世界に次々と

ー 同志の進化によるものが大きいことはもちろんだが、YMCAのユースであることが共通にあるからだと強く感じる。各地のYMCAが同じ価値観でユースに関わっている証である。

YMCAのブランディングの取り組み以降は、さらにその領域に注力している。今、YMCAのユースはWeb上のつながりにより全国各地、世界ともつながりを実現させ積極的な行動が育まれている。YMCA活動が、青春の一時期の生きがいの発見の場であることを願う。

※出典「いまの時を生かす 若い人たちのメッセージ」 石田昭義(ヨルダン社)


総主事 佐竹 博

2020年 維持会員 (Yサポーター) 受付中
お問い合わせ、お申込みは各YMCAへ

My Y Story

125 出会いときぎずな芽生えた 私の居場所、YMCA


横浜YMCA常議員 藤沢YMCA運営委員長 半沢 真一



YMCAと私のかかわりは、今から40年前に、鎌倉YMCAにて「コロギリーダー」として活動をさせていただきました。

1980年の夏に、リーダーとしてサッカー合宿に参加しましたが、その年の冬スキーキャンプが私にとっては、最初のキャンプでした。当時、鎌倉YMCAだけでメンバー(参加者)は、100人の大所帯でしたので、JR大船駅に集合して、貸し切り電車に乗り、スキー場へ向かいました。今でも思い出されることは、私たちがリーダーたちがスキーキャンプの準備を終えて、前日の夕方になると自分が受け持つメンバー一人ひとりに電話を掛けました。保護者の方と話をした後、本人と「明日からのキャンプは一緒に楽しみましょうね」というような会話を各リーダーが10名分のメンバー宅へ電話をしました。YMCA内の電話機の台数では足りず、数人のリーダーたちは10円玉を渡されて近くの電話ボックスへ走ったものです。(時代を感じますが...) 次の日の朝、JR大船駅では、前日に話をしたリーダーの顔を見つけたメンバー、さびしさをなくさんつくりなさい」と言いたいです。

当時、鎌倉YMCA内に自分の居場所があり、多くの方と出会い、きぎずな芽生え、私の貴重な財産となりました。私はこれからもキャンプリーダーで培ったことを活かして続けながらこれからもYMCAの活動を続けていきます。



▲最初に参加したスキーキャンプのリーダーたちと(1980年 前列右から5人目)